

令和5年度 南アルプスユネスコエコパーク推進事業 実績報告



ユネスコエコパークとは

ユネスコエコパークとは、「自然と人間社会の共生」を目的として、ユネスコが認定する取り組みです。具体的には、「地域の自然と文化を守りながら、地域社会の発展を目指す取り組み」で、世界では「生物圏保存地域（BR：Biosphere Reserves）」と呼ばれます。

ユネスコエコパークの3つの機能



保全機能

生物多様性の保全上重要な地域であること。



学術支援

持続可能な発展のための調査や研究、教育・研修の場を提供していること。



経済活動

自然環境の保全と調和した持続可能な発展の国内外のモデルとなりうる取り組みが行われていること。



■ 核心地域 ■

自然を守る

山、動物、植物などの大切な自然がたくさんあるところ

■ 緩衝地域 ■

自然を知る・感じる

自然の中で景色を楽しんだり学習したりするところ

■ 移行地域 ■

自然と暮らす

自然を活用しながら人が暮らしているところ

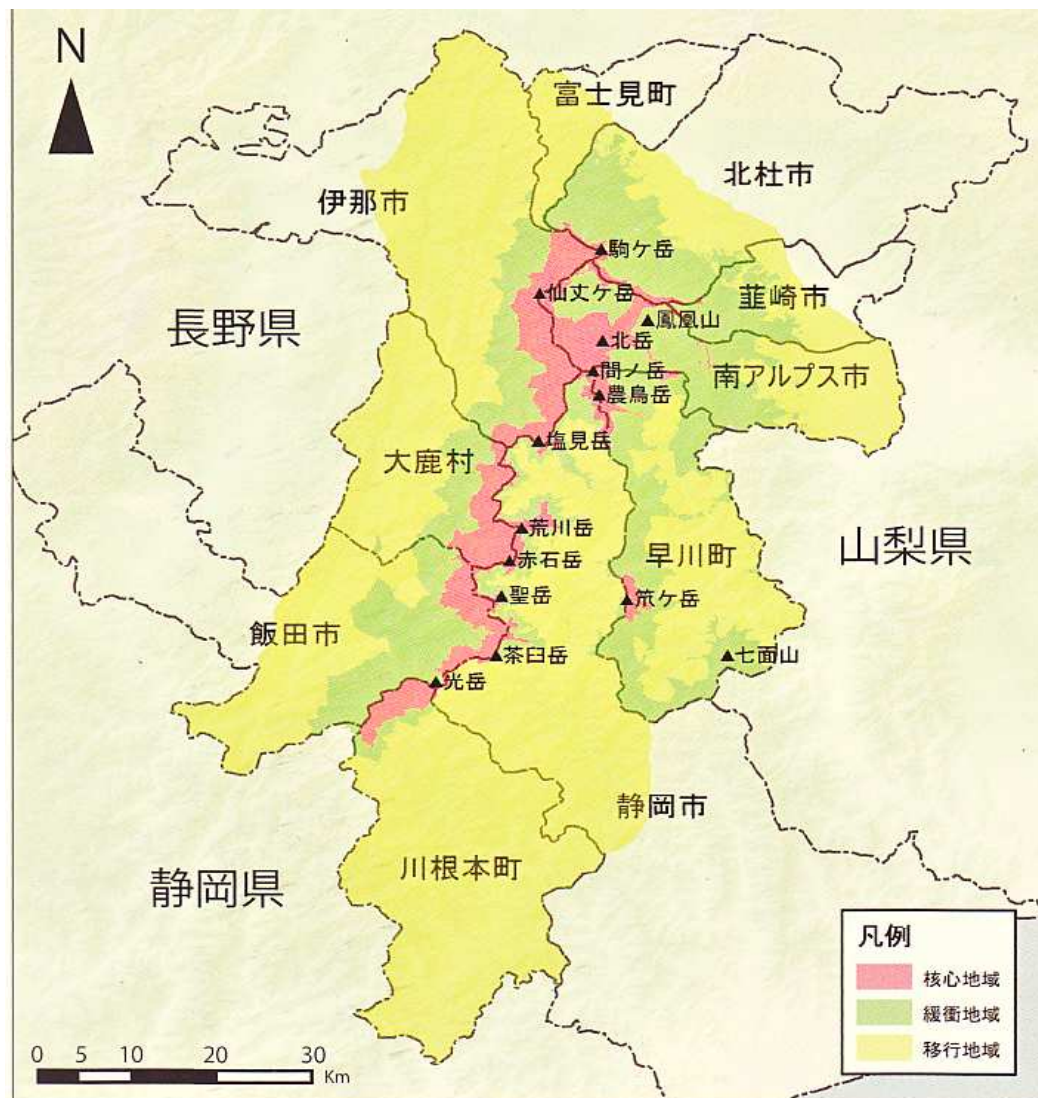
南アルプスユネスコエコパークの概要

【登録日】

平成26年6月12日

【登録エリア】

山梨県、静岡県、長野県にまたがる、日本最大のエリアを持つエコパークで、山梨県では、北杜市のほか、南アルプス市、韮崎市、早川町が登録されています。そのうち北杜市は、武川町と白州町が南アルプスユネスコエコパークのエリアになります。



令和5年度 南アルプスユネスコエコパーク関連事業

事業名	科目	予算額	決算額
市1-1 森林整備等財産区活動支援事業	消耗品費	1,270千円	1,181千円
市1-2 白州町地下水保全・利用対策協議会モニタリング事業	委託費他	290千円	228千円
市4-1 PR・情報発信事業	広告費他	1,306千円	942千円
市5-1 関係市町村との連携事業	負担金他	870千円	774千円
地1-1 環境保全普及啓発事業	補助金	660千円	598千円
地2-1 文化継承事業	補助金	660千円	178千円
地3-1 動植物保全活用次世代育成事業	補助金	50千円	0千円
地4-1 地域の魅力掘り起し事業	補助金	660千円	1,122千円
地4-2 情報発信事業	補助金	150千円	142千円
地その他 その他（会議運営費等）	補助金	65千円	27千円

※市：市実施分 地：地域連絡会実施分 1：環境保全、2：文化教育、3：動植物保全活用、4：産業振興・PR、5：自治体連携

令和5年度 南アルプスユネスコエコパーク 主な実施事業

市1-1 森林整備等財産区活動支援事業

■ 予算額 1,270千円 決算額 1,181千円

白州町並びに武川町内の財産区、保護組合の森林保全活動の支援を行いました。

豊かな森が、きれいでおいしい水を育み、里山の様々な活動に潤いを与えてくれます。下草刈りや樹木の枝払い、道づくりの環境整備などに必要な物品購入に活用しています。

市2-1 PR・情報発信事業

■ 予算額 1,306千円 決算額 942千円

南アルプスユネスコエコパークエリアをPRするため、広告やノベルティの作成を行いました。

広告については、昨年に引き続き高速バスの背面ラッピングを行い、令和5年度は新たにInstagramでの周知を行いました。



令和5年度 南アルプスユネスコエコパーク 主な実施事業

地1-1 環境保全普及啓発事業

■ 予算額 660千円 決算額 598千円

令和5年度は黒戸尾根五合目付近において、ゴミ拾い活動及び浸食箇所植生を回復させるためのヤシマットを布設しました。また、登山道保全等の取組みに関する横断幕を製作し、日向山矢立石登山口に設置しました。



回収したゴミは可燃物、不燃物合わせて740kgになりました。

横断幕製作（「ほくとの山2023」宣言）

令和5年度 南アルプスユネスコエコパーク 主な実施事業

地2-1 文化継承事業

■ 予算額 660千円 決算額 178千円

次世代を担う子供たちに環境保全や生物多様性の重要性について知ってもらうため、総合学習の時間を使って、白州中学校2年生と尾白川に生息する水生生物の調査を行いました。

そのほか、市内から参加者を募り、自元寺での写仏・座禅・精進料理の体験会や、小中学生への学習会などを行いました。



水生生物調査



座禅・写仏の体験



出張学習会の様子



令和5年度 南アルプスユネスコエコパーク関連事業

地4-1 地域の魅力掘り起し事業

■ 予算額 660千円 決算額 1,122千円

中山や日向山では、人の歩行や水の流れによって侵食されてしまった登山道が見られます。

このことから、昨年に引き続き周りの倒木や石、木の根などを使って、自然の構造を再現するように施工する「近自然工法」を用いての登山道の整備ワークショップを行いました。

また、南アルプスユネスコエコパークの魅力を知ってもらうため、中山で地元中学生や一般参加者を募集してのハイキングイベントを開催しました。

中山砦では遺構の説明を行い、頂上では武川米等を景品としたクイズ大会を行い、昼食には武川米のおにぎりとミネラルウォーターを配布し、快晴の中での充実したハイキングとなりました。

この他に中山展望台周辺の雑木撤去や下草刈り等を実施し、ノベルティとしてノート等を作成しました。



今後も南アルプスユネスコエコパークをPRし、このエリアの素晴らしさを市民に再認識してもらうとともに、後世に守り伝えるため、市民、企業、団体が一体となり事業を進めてまいります。